

新潟のアートシーンを
もっと面白く、
もっと元気に。

NIIGATA アートリンク2022 展覧会スケジュール

2012年よりスタートした美術館のネットワーク「NIIGATA アートリンク」。県立美術館と新潟市の美術館4館が手を取り合って美術館を活性化。館を超えたさまざまな取り組みを通して美術館めぐりがもっと楽しくなるヒントを提案していきます。

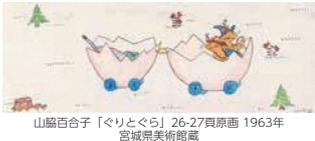
※各館とも新型コロナウイルス感染対策を講じております。なお、新型コロナウイルス感染症の状況により展覧会の内容等に変更がでる場合もございます。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

新潟市美術館 (新潟)

**宮城県美術館所蔵
絵本原画の世界 2022**
こどものとも「ぐりとぐら」も、
生まれた場所。

4月9日(土)～5月22日(日)

世代を超えて愛される絵本を数多く生み出してきた福音館書店の月刊絵本「こどものとも」。宮城県美術館の絵本原画コレクションの中から初期の作品や人気作など約50タイトルを展覧し、その原点と歩みを紹介します。



山藤百合子「ぐりとぐら」26-27頁原画 1963年
宮城県美術館蔵

マン・レイと女性たち

7月2日(土)～9月25日(日)

20世紀を代表する芸術家マン・レイ(1890-1976)。写真家である一方で、オブジェや映画の制作などその創作は様々な領域に及びました。本展では彼の芸術において重要なテーマとなる「女性」に焦点を当てその全貌に迫ります。

新潟映像祭

11月1日(火)～11月23日(水・祝)

アーティストがとらえた新潟の映像を所蔵品をまじえて特集展示。この地で育った者ならではの眼差しと、別の土地からやってきた者が現地を歩いて見出した新鮮な光景とが交錯します。



飯田清子「対岸について」2016年 新潟市美術館蔵

リアル(写真)のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと

11月29日(火)～2023年1月29日(日)

明治以降の日本絵画・彫刻・工芸における「写真」表現は現代の作家たちにどのように継承・再考されてきたのでしょうか。生人形、高橋由一、高村光雲から現代の自在工芸、七瀬綾乃や小谷元彦の新作まで、日本古来の伝統の伏流を探りながら展覧します。



高橋由一「読本と草紙」1874-75年 金刀比羅宮蔵

新潟市新津美術館 (新潟)

MINIATURE LIFE展2
田中達也 見立ての世界

3月19日(土)～5月15日(日)

田中達也(1981-)は、日常にある物を別の物に見立てたアート作品を制作するミニチュア写真家・見立て作家です。ハンバーガーがパラシュートに、目玉焼きが南の島に…。遊び心が満載の世界を、写真作品約120点と立体作品約50点でご紹介します。



「お菓子な虹」2019年 ©Tatsuya Tanaka

山形美術館所蔵 長谷川コレクション展

5月28日(土)～7月18日(月・祝)

山形美術館を代表する作品群である紅花商人の長谷川家に伝世した美術品「長谷川コレクション」から、重要文化財の写謝熊村「奥の細道図屏風」、山形県指定有形文化財等をひろくご紹介します。



与謝熊村「奥の細道図屏風」1779年 山形美術館蔵
©長谷川コレクション

田島征三 アートのぼうけん展

7月30日(土)～9月25日(日)

従来の概念を打ち破る「絵本」や「アート」の可能性を追求し続ける田島征三(1940-)。学生時代の作品から「ちからたろう」「とべパッタ」等の代表的な絵本原画、油彩画や版画などを加えた250余点を展示し、その創作世界的全貌を紹介します。

一画業50年のあゆみ 黒井健 絵本原画展

10月29日(土)～12月25日(日)

新潟市出身の黒井健(1947-)は、新美南吉の「ごんぎつね」や「手ぶくろを買いに」、間所ひさこの「ころわん」シリーズなど300冊以上の児童文学や絵本の挿絵を手掛けています。話題の新作や初公開の作品を含む約150点でその世界の魅力に迫ります。

美術と考古でみる、 こころへの生活。

2023年1月14日(土)～3月12日(日)

当館・新潟市美術館の美術資料と市文化財センターの発掘資料を掛け合わせ、私たちの暮らしのあり方を考えてみる展覧会です。



猪爪豚一「風景」(部分) 2017年 新潟市新津美術館蔵

新潟県立万代島美術館 (新潟)

**ボストン美術館所蔵
THE HEROES**
刀剣×浮世絵-武者たちの物語

4月23日(土)～6月19日(日)

武者絵は、軍記物語や武勇伝説に登場する英雄(ヒーロー)を描いた絵画です。本展覧会では、世界最高水準の日本美術コレクションを誇るボストン美術館の所蔵品から厳選した刀剣と武者絵率100%の浮世絵版画、そして武者絵と共通のイメージがデザインされた刀剣の鐔(つば)を通じて、さまざまなヒーローたちの活躍をご紹介します。



歌川国貞「英鬼 灰橋綱達変化」1815年頃
Bequest of Maxim Karolik
Photograph ©Museum of Fine Arts, Boston

和田誠展

7月2日(土)～8月28日(日)

和田誠(1936-2019)の膨大で多岐にわたる創作活動の全貌に迫る初めての展覧会。本展では、和田誠を知るうえで欠かせない30のトピックを軸に、83年の生涯で制作した多彩な作品を紹介します。



「密林-きれいなひょうの話」(文・工藤喜子)より
2018年 鎌倉会(1975年初版 銀河社)
多摩美術大学アートアーカイブセンター蔵 ©Wada Makoto

庵野秀明展

9月23日(金・祝)～
2023年1月9日(月・祝)

総監督を務めた最新作「シン・エヴァンゲリオン劇場版」が興行収入100億円を超える大ヒットとなった庵野秀明(1960-)。本展は、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫ります。



東京展の様子 (提供: 庵野秀明展実行委員会)

原田治展「かわいい」の発見

2023年1月28日(土)～
5月7日(日) ※予定

「OSAMU GOODS(オサムグッズ)」の生みの親、イラストレーター・原田治(1946-2016)。シンプルな線と爽やかな色彩で描かれたキャラクターは70年代後半から90年代に爆発的な人気を博し、今も幅広い世代に愛されています。広告・出版・グッズなど多岐にわたる作品を網羅した、没後初となる全国巡回展。

新潟県立近代美術館 (長岡)

**平等院鳳凰堂と浄土院
その美と信仰**

4月23日(土)～6月5日(日)

雲中供養菩薩像(国宝)に代表される鳳凰堂ゆかりの名品を中心に、近年の調査で発見された貴重な宝物や往時の華麗な堂宇を偲ばせる復元模写・模造、さらには養林庵書院(重要文化財)模造など、塔頭の浄土院に伝わる寺宝も紹介します。



国宝《雲中供養菩薩像 南1号》1053年 平等院蔵
※後期(5/17-6/5) 展示 ©平等院

三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

7月16日(土)～9月25日(日)

三沢厚彦(1961-)が、2000年から手掛ける代表的シリーズ「ANIMALS(アニマルズ)」。様々な動物をモチーフに、樟を等身大に彫り出した木彫は、圧倒的存在感で観る者に迫ります。身近な動物から、空想上の生き物まで、最新作を含む彫刻と絵画およそ100点を一堂に紹介します。



三沢厚彦「Animal 2020-03」2020年 樟、油彩
撮影/三沢厚彦 会場/あべのハルカス美術館
©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery

ダリ版画展

10月8日(土)～12月4日(日)

シュルレアリスムを代表する画家として知られるサルバドール・ダリ(1904-1989)。版画に対する彼の愛好と造詣は深く、生涯に1600点以上の版画作品を残しています。その中から選ばれた約200点により、20世紀最大の奇才と称されるダリの真髄に迫ります。



サルバドール・ダリ「シュルレアリスムの時間の目」
(「シュルレアリスムの悪い目」より) 1971年
©Salvador Dalí, Fundació Gala-Salvador Dalí,
JASPAR Tokyo, 2022 E4568



林明子「はじめてのおつかい」表紙・裏表紙原画 1976年 宮城県美術館蔵

宮城県美術館所蔵 絵本原画の世界2022 こどものとも「ぐりとくら」も、生まれた場所。

4月9日(土)~5月22日(日)
新潟市美術館

ロングセラー「こどものとも」シリーズの中から絵本を読んだ・読み聞かせたあの頃を思い出す作品の数々が並びます。

和田誠展

7月2日(土)~8月28日(日)
新潟県立万代島美術館

星新一の挿絵や谷川俊太郎との絵本等々、手がけた子どもの本だけでも数知れず。大胆な発想、溢れるユーモアも見どころです。

「きまぐれロボット」(文・星新一)カバー 1999年 理論社 ©Wada Makoto



原田治展「かわいい」の発見

2023年1月28日(土)~5月7日(日) ※予定
新潟県立万代島美術館

原田治のかわいいイラストやグッズが大集合する。カラフルで楽しい展示室にご期待ください。絵本の展示もお楽しみに!



「JILL」©Osamu Harada/Koji Honpo

親子で楽しむ 展覧会

NIIGATA アートリンク2022

今年度の新潟県立・新潟市立の美術館4館は、絵本展、カワイイ動物の彫刻展など、子どもも大人も一緒に楽しめる展覧会が目白押し! 親子の思い出づくりや息抜きに、ぜひお出かけください。

一画業50年のあゆみ 黒井健 絵本原画展

10月29日(土)~12月25日(日)
新潟市新津美術館

代表作はもちろん、子どもの想像力とは何かを問いかけた話題の新作「まっくら」(文・高崎卓馬)の原画も展示します。



田島征三 アートのぼうけん展

7月30日(土)~9月25日(日)
新潟市新津美術館

代表的な絵本原画をはじめ、油彩画や版画など、子どもから大人まで惹きつける田島征三のパワー溢れる世界を体験できます。

田島征三「ちからたろう」原画 1967年 刈谷市美術館寄託

三沢厚彦 ANIMALS IN NAGAOKA

7月16日(土)~9月25日(日)
新潟県立近代美術館

身近な動物から空想上の生き物まで——子どもから大人まで夢になれる、魅力的な木彫作品「ANIMALS(アニマルズ)」が美術館に大集合します。



三沢厚彦(Animal2009-02) 2009年 樟、油彩 撮影/三沢厚彦 ©Atsuhiko Misawa, Courtesy of Nishimura Gallery



「手ぶくろを買いに」植成社 ©ken kuroki



各館で授乳室、おむつ交換台等の設置、ベビーカーの貸出を行っています。詳しくはお問い合わせください。

各館基本情報・交通案内

- JR新潟駅万代口からバス:
 - 【A】C6八千代橋線乗車時間約16分→「西堀通八番町」下車→徒歩5分(約400m)
 - 【B】B1萬代橋ライン(BRT)など乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分(約860m) ※Bは最も便数が多いです
 - 【C】観光循環バス乗車約30分→「北方文化博物館新潟分館前」下車→徒歩6分(約500m)
 - タクシー: JR新潟駅万代口から約10分
 - 自動車
 - 【1】高速道路日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
 - 【2】国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分
- ※駐車場情報は当館ウェブサイトでご確認ください。



新潟市美術館 Niigata City Art Museum

4/9~9/25は9:30~18:00
10/12~3/31は9:30~17:00
(観覧券の発売は閉館30分前まで)
〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
TEL 025-223-1622
<http://www.ncam.jp/>

- JR古津駅から徒歩約25分。
 - JR新津駅からタクシー: 約15分
バス: 東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行」に乗車約15分、「新津美術館入口」下車、徒歩約5分。
 - JR矢代田駅から徒歩: 約35分
タクシー: 約5分
 - 自動車
 - 【1】磐越自動車道新津ICから約20分
 - 【2】新津西スマートICから約15分(新潟西スマートICは会津若松方面の出入りにはできません)。
- ※無料駐車場(250台)有。



NIIGATA CITY NIITSU ART MUSEUM 新潟市新津美術館

10:00~17:00(観覧券の発売は16:30まで)
〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
(花と遺跡のふるさと公園内、県立植物園となり)
TEL 0250-25-1300
<http://www.city.niigata.lg.jp/nam/>

- JR新潟駅からタクシー: 約8分 徒歩: 約25分
バス: 約15分[万代口バス乗場より「佐渡汽船線」(3番線)に乗車、「朱鷺メッセ」下車]
- 新潟空港からタクシー約20分
- 自動車
高速道路 北陸道(新潟西IC)/磐越道(新潟中央IC)/日東道(新潟亀田IC)から一般道へ。新潟バイパス、亀田バイパスを紫竹山ICで降り、栗ノ木バイパスを新潟西港方面へ。
- 駐車場
 - 【1】万代島駐車場(A~E駐車場 ※Cは思いやり駐車場): 1時間まで無料(1時間経過後、100円/30分)TEL 025-246-8400
 - 【2】万代島ビル駐車場(1F、M2F): 100円/20分TEL 025-249-1044



新潟県立万代島美術館 The Niigata Bandaijima Art Museum

10:00~18:00(観覧券の発売は17:30まで)
〒950-0078 新潟市中央区万代島5-1
(朱鷺メッセ内万代島ビル5F)
TEL 025-290-6655
<https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

- JR長岡駅からバス:
 - 【A】大手口8番線: 中央環状線「くるりん」内回り「県立近代美術館前」下車(乗車約15分)すぐ
 - 【B】大手口2番線: センタープラザ・日赤病院方面行「日赤病院前」下車(乗車約15分)から徒歩5分
 - タクシー: 大手口から約15分
 - 自動車
 - 【1】関越自動車道: 長岡ICから約10分
 - 【2】北陸自動車道: 長岡北SICから約10分
- ※無料駐車場(165台)有。



NOM THE NIIGATA PREFECTURAL MUSEUM OF MODERN ART 新潟県立近代美術館

9:00~17:00(観覧券の発売は16:30まで)
〒940-2083 長岡市千秋3丁目278-14
TEL 0258-28-4111
<https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>